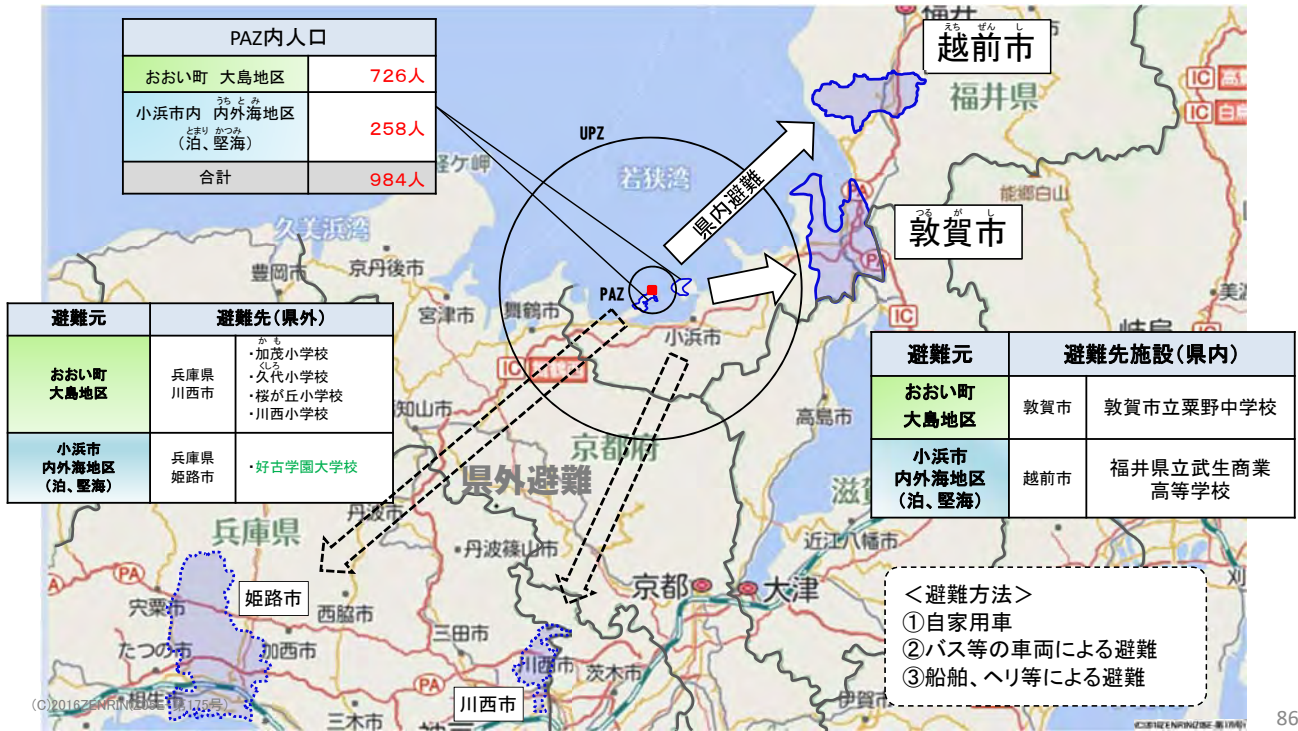


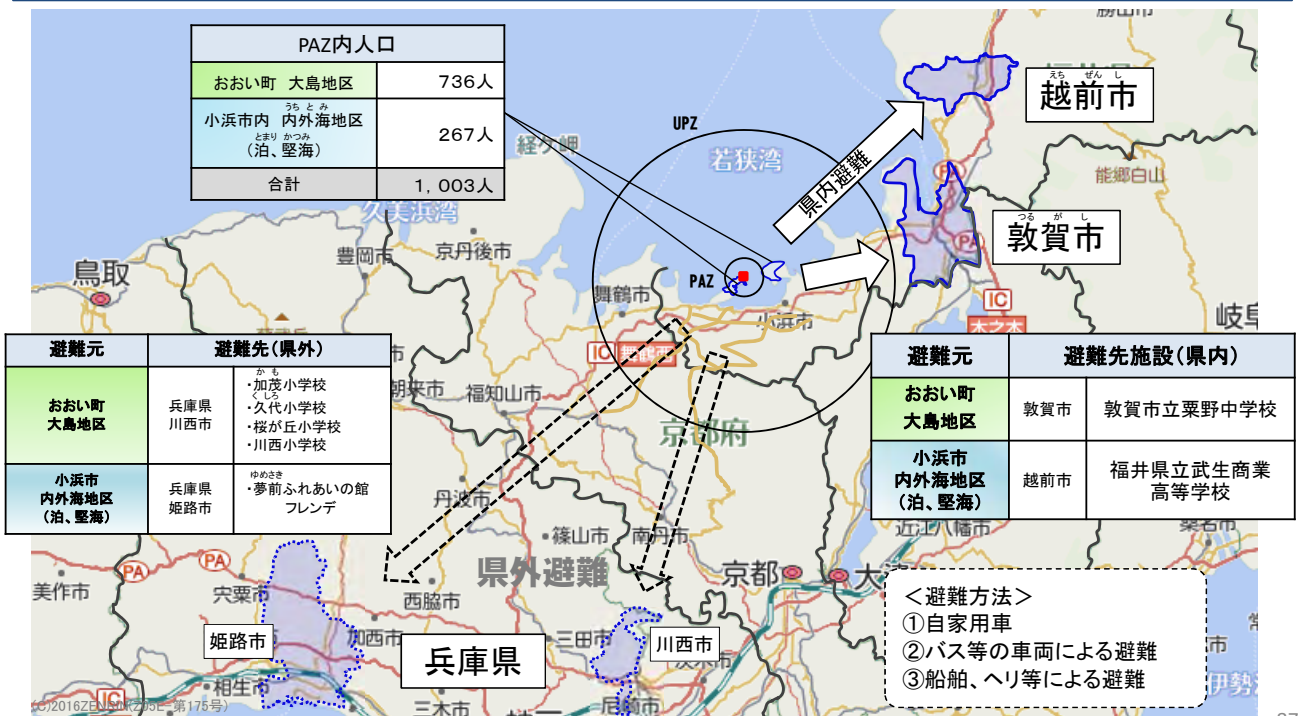
おい町及び小浜市におけるPAZ内の住民の避難先

- おい町大島地区、小浜市内外海地区(泊、堅海)住民の避難については、福井県内及び県外において避難先を確保。地域コミュニティの確保と行政支援継続の観点から、県内避難を基本とする。
- 両地区における避難先については、**普段**から避難計画に関する**広報**や**訓練**等を通じて住民に周知。



おい町及び小浜市におけるPAZ内の住民の避難先

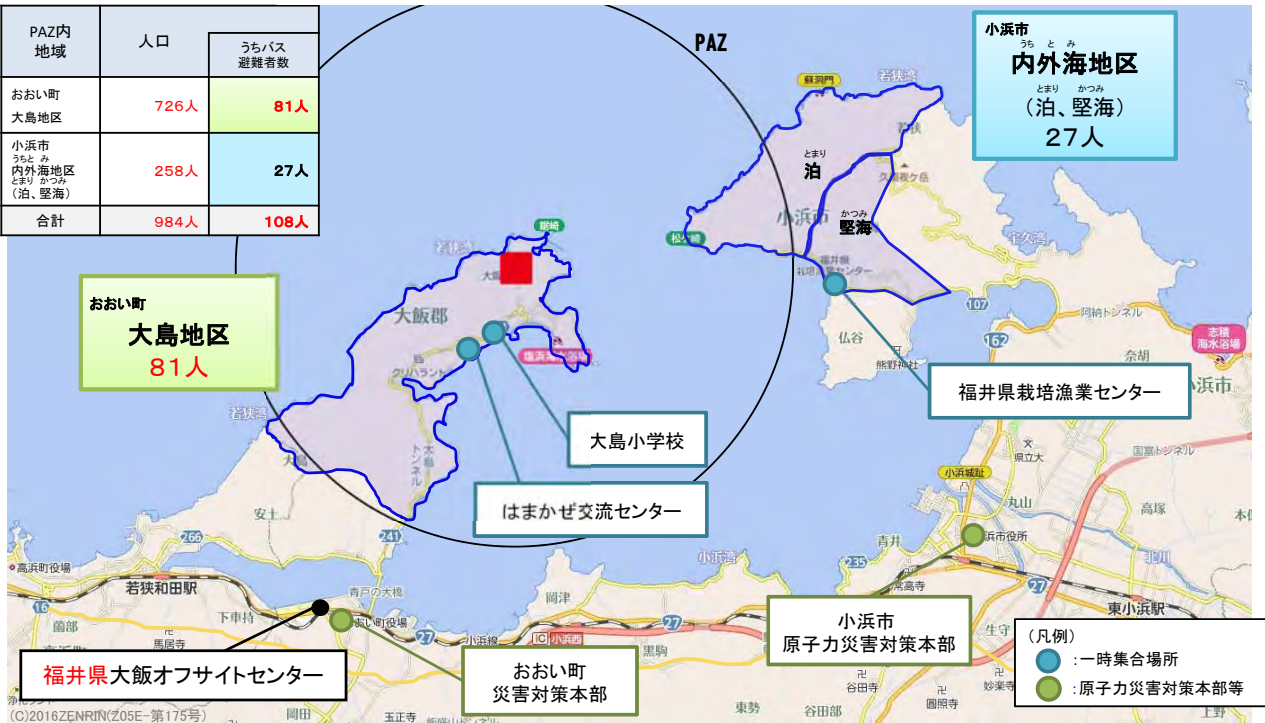
- おい町大島地区、小浜市内外海地区(泊、堅海)住民の避難については、福井県内及び県外において避難先を確保。地域コミュニティの確保と行政支援継続の観点から、県内避難を基本とする。
- 両地区における避難先については、**平時**から避難計画に関する住民説明会やケーブルテレビ放送・訓練等を通じて住民に周知。



PAZ内における自家用車で避難できない住民の数

➤ おおい町、小浜市による調査の結果、両地区における自家用車で避難できない住民は全984人のうち、108人。

PAZ内地域	人口	うちバス避難者数
おおい町 大島地区	726人	81人
小浜市 内外海地区 (泊、堅海)	258人	27人
合計	984人	108人

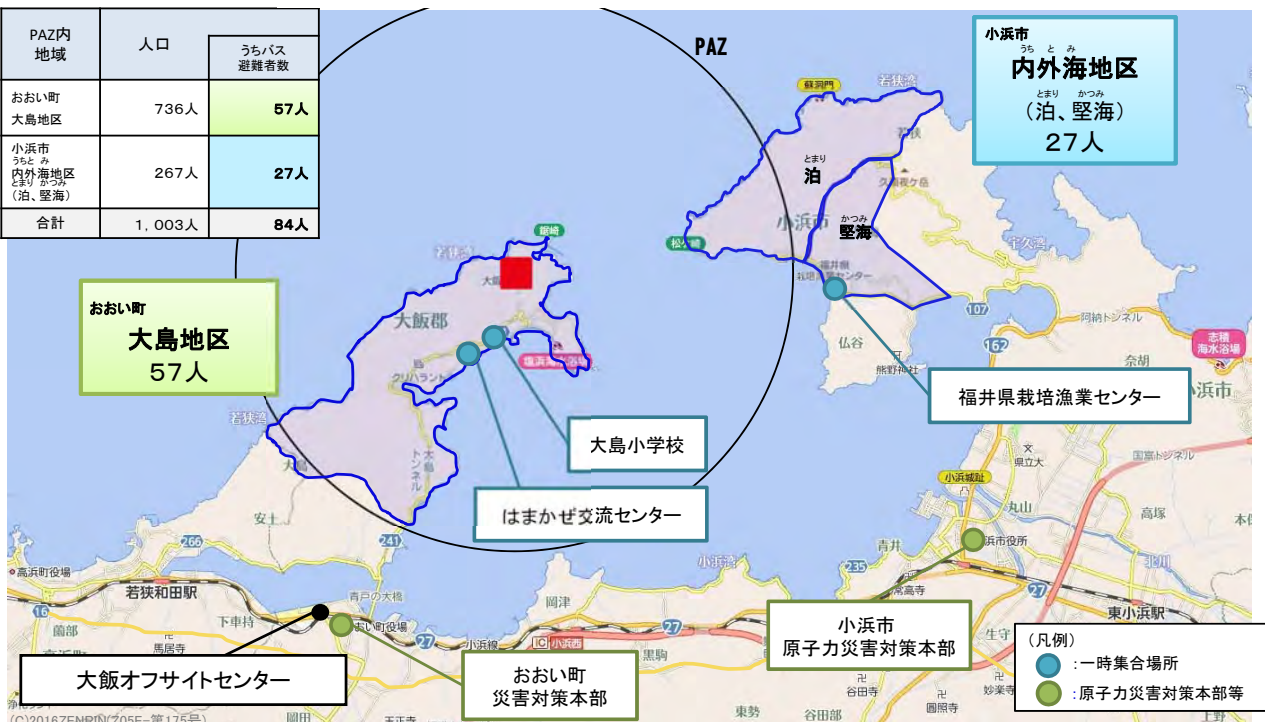


※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、関係自治体の要請により実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)が必要に応じ支援を実施 88

PAZ内における自家用車で避難できない住民の数

➤ おおい町、小浜市による調査の結果、両地区における自家用車で避難できない住民は全1,003人のうち、84人。

PAZ内地域	人口	うちバス避難者数
おおい町 大島地区	736人	57人
小浜市 内外海地区 (泊、堅海)	267人	27人
合計	1,003人	84人



※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請 89

- おおい町において全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民約81人分、バス2台。
- 全面緊急事態発生時には、福井県嶺南地方のバス会社が保有する車両のほか、関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
- 車両及び運転者については、福井県バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

＜おおい町において全面緊急事態で必要となる輸送能力＞

	想定対象人数 ※1	必要車両台数	備考
自家用車で避難ができない住民	81人	2台	バス1台当たり45人程度の乗車を想定【資料P44】

※1 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

＜おおい町における全面緊急事態での輸送能力の確保＞

	確保車両台数		備考
	バス		
(A)必要車両台数	2台		
(B)確保車両台数	計2台		
確保先	バス会社[福井県嶺南地方]	1台	保有車両台数 バス193台
	関西電力	1台	保有車両台数 バス9台

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、関係自治体の要請により実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)が必要に応じ支援を実施

90

- おおい町において全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民、合計57人分、バス2台。
- 全面緊急事態発生時には、福井県嶺南地方のバス会社が保有する車両のほか、関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
- 車両及び運転者については、福井県バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

＜おおい町において全面緊急事態で必要となる輸送能力＞

	想定対象人数 ※1	必要車両台数	備考
自家用車で避難ができない住民	57人	2台	バス1台当たり45人程度の乗車を想定【資料P42】

※1 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

＜おおい町における全面緊急事態での輸送能力の確保＞

	確保車両台数		備考
	バス		
(A)必要車両台数	2台		
(B)確保車両台数	2台		
確保先	バス会社[福井県嶺南地方]	1台	保有車両台数 バス187台
	関西電力	1台	保有車両台数 バス9台

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請

91

- お ば ま し
- 小浜市において全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民約27人分、バス1台。
 - 全面緊急事態発生時には、関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
 - 車両及び運転者については、福井県バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

＜小浜市において全面緊急事態で必要となる輸送能力＞

	想定対象人数 ※1	必要車両台数	備考
自家用車で避難ができない住民	27人	1台	1台当たり45人程度の乗車を想定【資料P44】

※1 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

＜小浜市における全面緊急事態での輸送能力の確保＞

		確保車両台数	備考
		バス	
(A)必要車両台数		1台	
(B)確保車両台数		1台	
確保先	関西電力	1台	保有車両台数 バス9台

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、関係自治体の要請により実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)が必要に応じ支援を実施

92

- お ば ま し
- 小浜市において全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民27人分、バス1台。
 - 全面緊急事態発生時には、関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
 - 車両及び運転者については、福井県バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

＜小浜市において全面緊急事態で必要となる輸送能力＞

	想定対象人数 ※1	必要車両台数	備考
自家用車で避難ができない住民	27人	1台	1台当たり45人程度の乗車を想定【資料P42】

※1 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

＜小浜市における全面緊急事態での輸送能力の確保＞

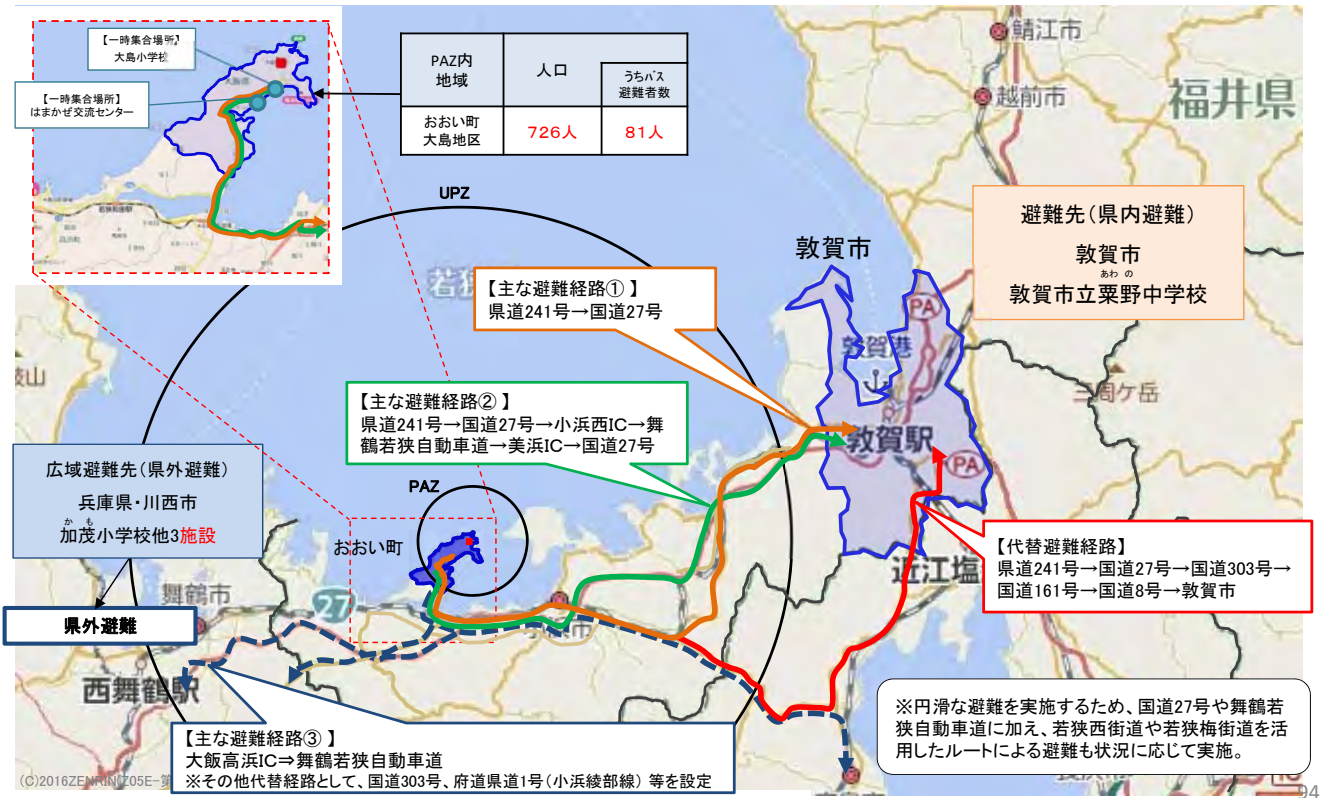
		確保車両台数	備考
		バス	
(A)必要車両台数		1台	
(B)確保車両台数		1台	
確保先	関西電力	1台	保有車両台数 バス9台

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請

93

おい町大島地区から避難先施設までの主な経路

- 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等により避難経路が使用できない場合は、他のルートを活用し避難を実施。
- 自家用車で避難できない住民は、徒歩等で一時集合場所に集まり、福井県等が配車した車両で避難先まで避難を実施。



おい町大島地区から避難先施設までの主な経路

- 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等により避難経路が使用できない場合は、他のルートを活用し避難を実施。
- 自家用車で避難できない住民は、徒歩等で一時集合場所に集まり、福井県等が配車した車両で避難先まで避難を実施。

